

# 田中工業 DX経営ビジョン

2023.11改版

Docutation

代表取締役 田中滋俊

# 1.DX推進宣言

人口減少の波は、社員の高齢化・慢性的な人手不足・業種や賃金格差による労働力採用困難など、福岡県下全業種の中小企業に大きく影響をもたらしはじめ、今までと同じやり方のままでは成長発展していくことが厳しい時代になりました。また、ここ数年のデジタル技術の著しい進歩により、あらゆる業種において、業務の生産性向上や付加価値の向上にはデジタル技術の活用が不可欠となっており、その活用ができる企業と出来ない企業との格差はどんどん広がっています。デジタル技術のいち早い採用が競争の優劣を分けるといっても過言ではありません。withコロナ時代において、社会全体で急速なデジタル化が進められていますが、中小企業が自社でデジタル化を進めていく上で、様々な側面において課題がある事が顕在化し、デジタル化がなかなか進んでいないのが現状です。このような状況を改善するため、単なるデジタル化やIT化ではなく、データとデジタル技術を活用して、お客様や社会のニーズをもとに製品やサービス、当社のビジネスモデルを見直ししていく必要に迫られています。そのために、まず当社自身がDX変革を行い、そのノウハウを活かして福岡県の中小企業のDX推進に伴走型で貢献できるよう取り組んでまいります。

## 2.D X経営ビジョン

デジタル技術を活用してお客様の経営課題に寄り添い、お客様と共に成長し、地域社会に貢献できるソリューション企業に進化する

具体的には、当社のDXを推進し、激変する社会の変化に対応できる体制を構築するとともに、そのノウハウを活かして、付加価値の高いソリューションを継続して中小企業に伴走型で提供し、共に成長できる企業を目指します。

# 3.DX経営ビジョンを実現するためのビジネスモデル

## ①デジタル技術活用による業務の効率化

自社の様々な業務にデジタル技術を活用することで、業務の効率化を図ります。

## ②デジタル技術活用によるデータ利活用の促進

組織やシステムをまたがった顧客データに、デジタル技術を活用することでデータの有効活用を図ります。

## ③デジタル技術活用の実践事例を伴走型で支援する

自社で実践したデジタル技術の活用ノウハウを商品化し、同様の課題を有する中小企業に伴走型でデジタル化推進を支援します。

# 4. ビジネスモデルを実現する戦略

## 4-①. デジタル技術活用による業務の効率化とデータ活用の推進

以下の取組により、業務の効率化とデータ活用の推進を実現します。

- 1) バックオフィスのデジタル化を進め、積極的に新しいデジタル技術を活用し、紙と手作業の業務フローをデジタル化することで業務効率を向上し、経営課題の把握から解決の質とスピードをアップします。：BI、AI・OCR、クラウドツール、電子帳簿保存法対応RPAの活用
- 2) 工程管理のデジタル化を進め工程進捗を可視化し、(受注)(生産)一元管理を可能にして業務の効率化を図り、生産能力を向上します。：クラウドツール、BIの活用
- 3) 顧客情報収集・解析のデジタル化を進めペーパーレス化を推進し、顧客情報を利活用することで、販売効率と顧客満足度を高めます。：クラウドツール、BI、グループウェア・携帯電話の活用

# 4. ビジネスモデルを実現する戦略

## 4-①.【達成度を測る指標】

1) -①.バックヤード業務の事務担当者の人数：業務量が増加しても、業務効率向上により現状人員で処理する。

1) -②.販売管理入力作業時間：ペーパーレス化・二重入力削減により1年目にデータ入力時間80%削減する。

2) 電子化事業の成長率：(受注)(生産)一元管理により、1年目に110%を目指す。

3) 1社あたりの取引商材数：顧客情報のデジタル活用により、1社あたりの取引商材数を前年度110%以上を目指し、3年後150%を目指す。

# 4. ビジネスモデルを実現する戦略

## 4-②. デジタル技術活用の実践事例を活かし、伴走型で支援する

以下の取組により、自社のDX推進ノウハウを活かした「DX支援サービス」を伴走型で支援する。

- 1) 当社の変革実践をもとに、活用するアプリケーションの導入支援と、運用コンサルティングを継続的に実施します。： BI、RPA、AI-OCR、グループウェア、クラウド

# 4.ビジネスモデルを実現する戦略

## 4-②.【達成度を測る指標】

1) DX支援サービスの導入社数：1年目は5社以上の導入を実施し、以降毎年度導入社数を増加させる

# 5.DXを進める体制

## DX推進部門を設置

DXを推進するための体制・組織として、社長直轄の【ICT課】を設置し、全社横断でICT推進担当者を選定します

# 6.人材の育成

## ①課題解決に向けた取り組み

【ICT課】でデジタル化テーマを策定し、プロジェクト体制で社員のDX参加を推進する

## ②協力企業、パートナーなど各分野の専門家と外部連携を推進

プロジェクトを推進するための、専門家及びビジネスパートナー各社殿と支援体制を構築し、定期的勉強会を実施しITリテラシーを向上する

## ③DX推進をマネジメントできる人材の育成や採用

全社員研修の定期的開催、デジタル資格取得に向けた取り組み、ICT有資格者の積極的採用を行う

## 7.環境整備

DX戦略を推進するためのITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けて、以下の取組を実施します。

- ・積極的にIT補助金を活用し、資金と専門家の知識を活用して、ITシステムの導入を推進します。
- ・導入したITシステムを最大限に活用するため、必要なIT知識・技能を習得するための研修予算を確保します。
- ・ITシステム・デジタル技術導入や、IT人材育成のための予算を毎年確保し、DXを着実に推進します。

## 8.サイバーセキュリティ対策

サイバーセキュリティ対策を推進するための環境の整備に向けて、以下の取組を実施します。

2022年8月Security Action（2つ星）を宣言

### 【具体的対策】

- ・UTM+EDRによるウイルス対策
- ・定期的なアップデートによるブラウザの脆弱性対策
- ・サイバーセキュリティ社員教育を定期的実施する

## 9.DX推進の進捗

当社が導入したデジタル技術や活用した補助金制度の進捗をお知らせします。

年 月	実施内容
2019年9月	Google Workspace(旧G Suite)を本社導入
2019年12月	クラウドストレージ「BOX」導入
2020年1月	クラウド版社内ポータルサイト運用開始
2020年1月	kintone営業支援システム稼働
2020年2月	営業員にスマートフォンを貸与
2020年6月	リモートワーク導入（新型コロナ対策）
2020年7月	Web会議導入
2020年8月	PHONE APPLI(旧連絡とれる君)導入
2021年1月	シャチハタクラウド導入
2023年5月	福岡県中小企業生産性向上支援センター 生産性向上支援決定
2023年6月	令和5年度 福岡県中小企業生産性向上デジタル支援補助金申請
2023年10月	電子帳簿保存法対応奉行クラウド稼働
2023年11月	大型ディスプレイ導入、定例会議ペーパーレス化



# 田中工業 DX経営ビジョン

END